2022年3月期 決算説明会

2022年 6月 7日

日本特殊塗料株式会社

（証券コード 4619 東証プライム）

Copyright © NIHON TOKUSHU TORYO CO., LTD. All Rights Reserved.

目 次

1．2022年3月期 決算の概要

2．2023年3月期 通期業績予想の概要

3．中期経営計画の概要（業績目標）

4．当社の事業概要

5．今後の成長戦略

＜参考資料＞

1. 会社概要

2. 主要な経営指標の推移

1．2022年3月期 決算の概要

（1）2022年3月期 決算サマリー

①連結損益計算書

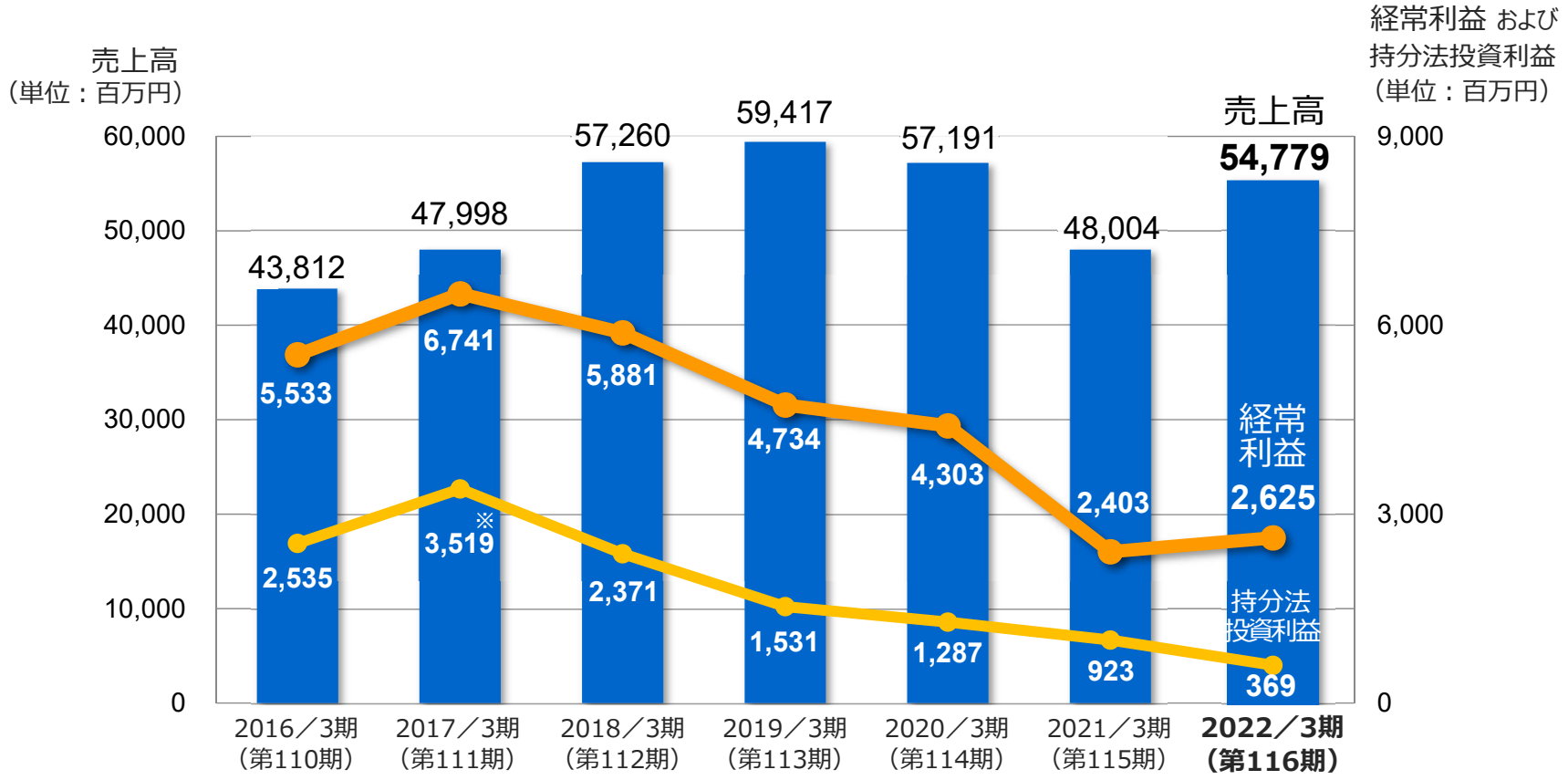
単位：百万円

	21／3月期		22／3月期		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	48,004	–	**54,779**	**–**	+6,774	+14.1%
売上原価	38,263	79.7	**44,298**	**80.9**	+6,034	+15.8%
販売費及び一般管理費	8,882	18.5	**8,998**	**16.4**	+115	+1.3%
営業利益	858	1.8	**1,482**	**2.7**	+623	+72.6%
経常利益	2,403	5.0	**2,625**	**4.8**	+221	+9.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,301	2.7	**1,300**	**2.4**	△1	△0.1%
１株当たり当期純利益	59.27円	–	**59.90円**	**–**	+0.63円	–

1．2022年3月期 決算の概要

（1）2022年3月期 決算サマリー

②連結業績の推移（直近７期）



※2017／3期は特殊要因の影響あり（米国固定資産売却益960百万円を計上）

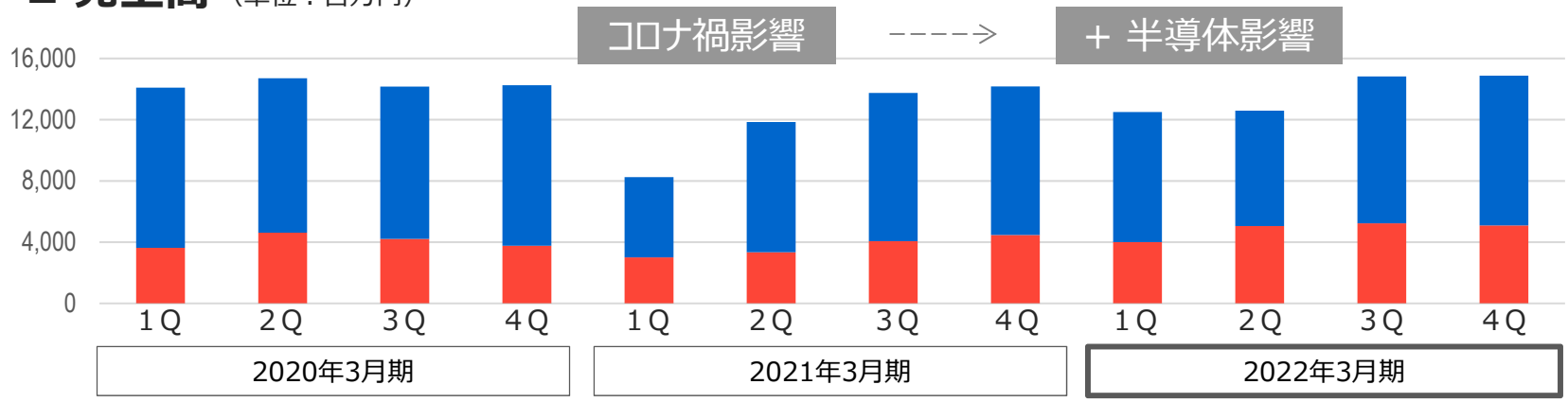
1．2022年3月期 決算の概要

（1）2022年3月期 決算サマリー

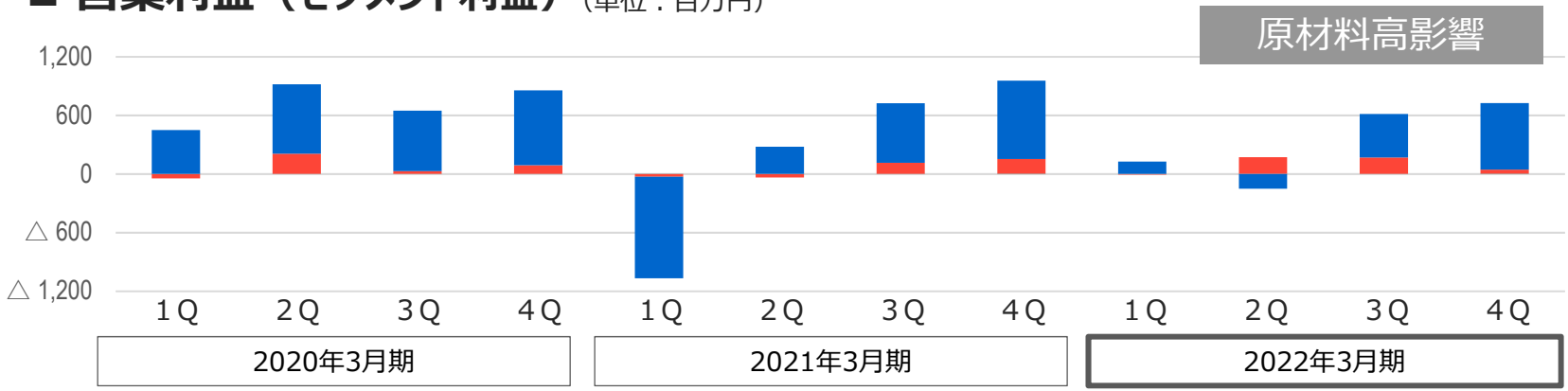
③連結業績の推移（直近３期 四半期推移）

自動車製品事業
塗料事業

■ **売上高** （単位：百万円）



■ **営業利益（セグメント利益）** （単位：百万円）

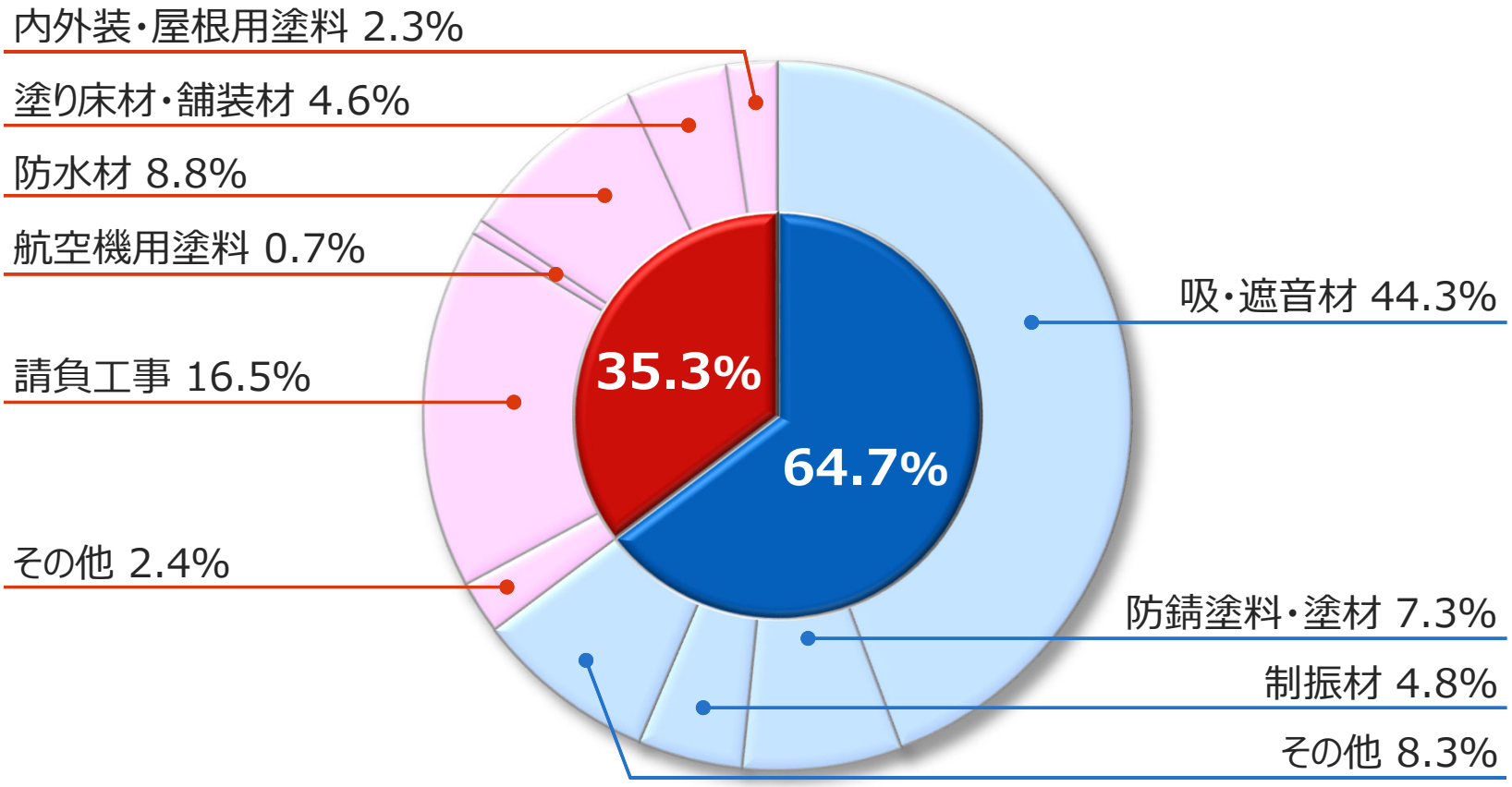


1．2022年3月期 決算の概要

（1）2022年3月期 決算サマリー

④売上高構成比（セグメント / 主要製品別）

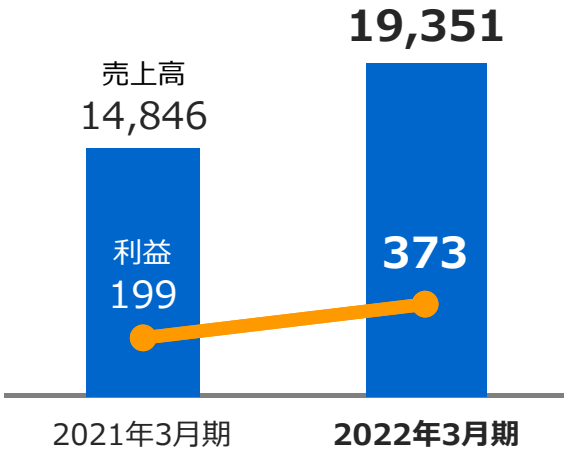
塗料事業　　自動車製品事業



1．2022年3月期 決算の概要

（2）セグメント別の状況

①塗料関連事業



単位：百万円

	2021年3月期	2022年3月期	増減率
売上高	14,846	**19,351**	＋30.3%
セグメント利益	199	**373**	＋87.0%
（利益率）	（1.3%）	**（1.9%）**	

【売上高】

・塗料　前期比＋5.1%

主力の防水材を中心に建築・構築物用塗料は堅調に推移

・工事関連　前期比＋81.5%

受注増加とともに、前期に一部停滞していた工事が進捗

【セグメント利益】

・売上高が大きく回復したものの原材料価格高騰の影響大

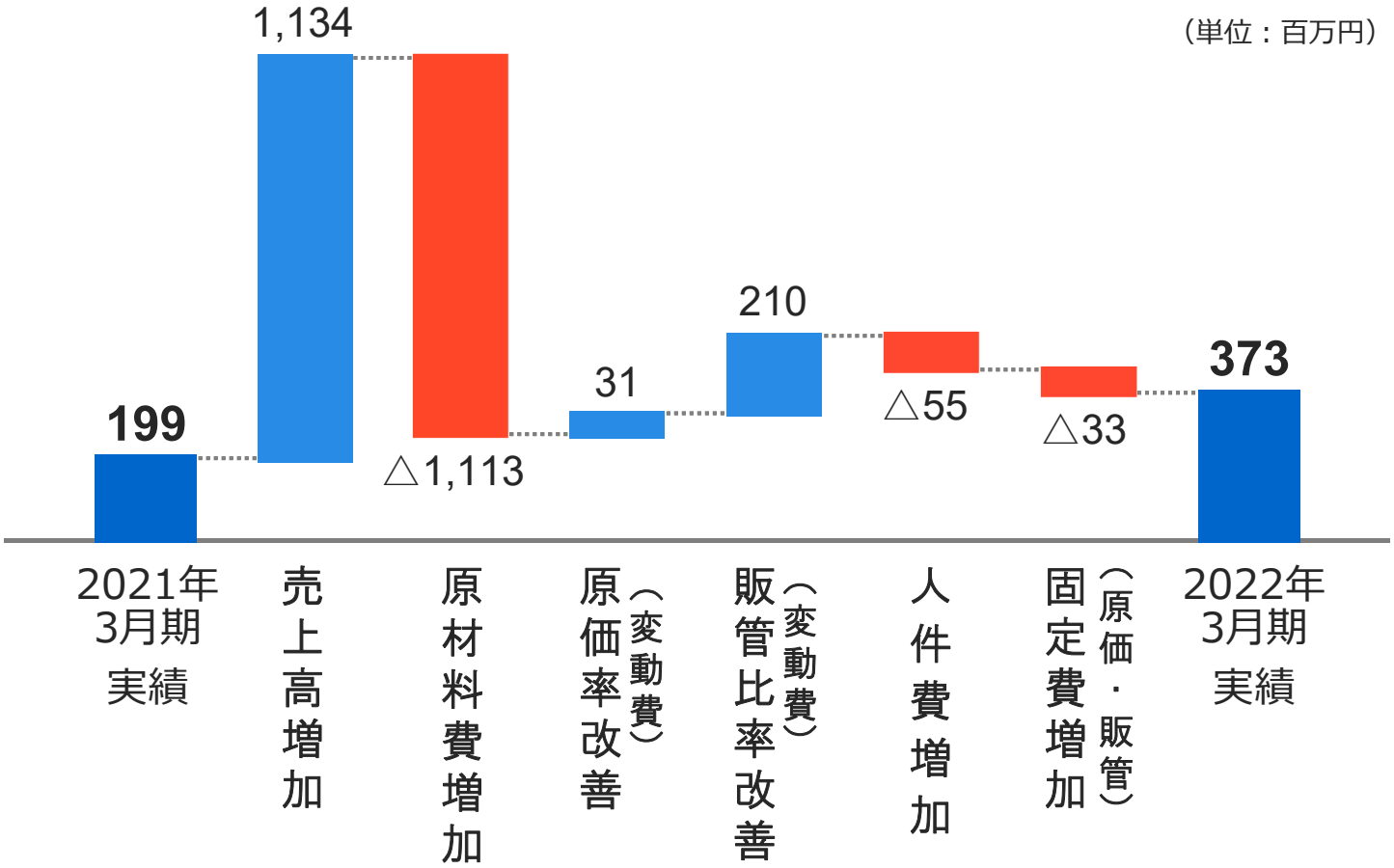
（要因分析は、次頁参照）

1．2022年3月期 決算の概要

（2）セグメント別の状況

①塗料関連事業

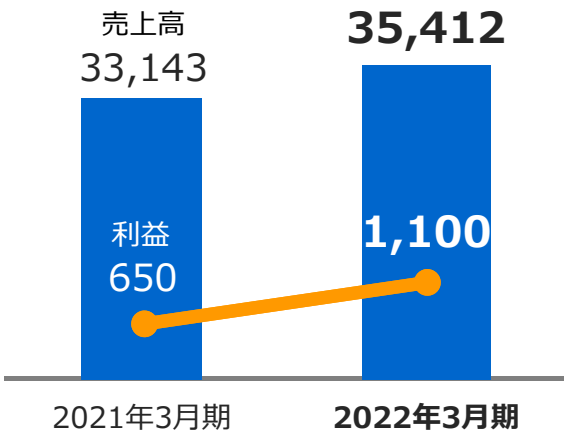
【利益増減要因分析】



1．2022年3月期 決算の概要

（2）セグメント別の状況

②自動車製品関連事業



単位：百万円

	2021年3月期	2022年3月期	増減率
売上高	33,143	**35,412**	＋6.8%
セグメント利益	650	**1,100**	＋69.2%
（利益率）	（2.0%）	**（3.1%）**	

【売上高】

・自動車の生産台数回復により吸・遮音材を中心に売上増

・海外子会社ＷＮＡ（中国・武漢）および ＴＮＡ（インドネシア） も前期のコロナ禍影響から回復し増収増益

【セグメント利益】

・売上高の回復、経費低減策を徹底したものの、原材料価格高騰の影響大

（要因分析は、次頁参照）

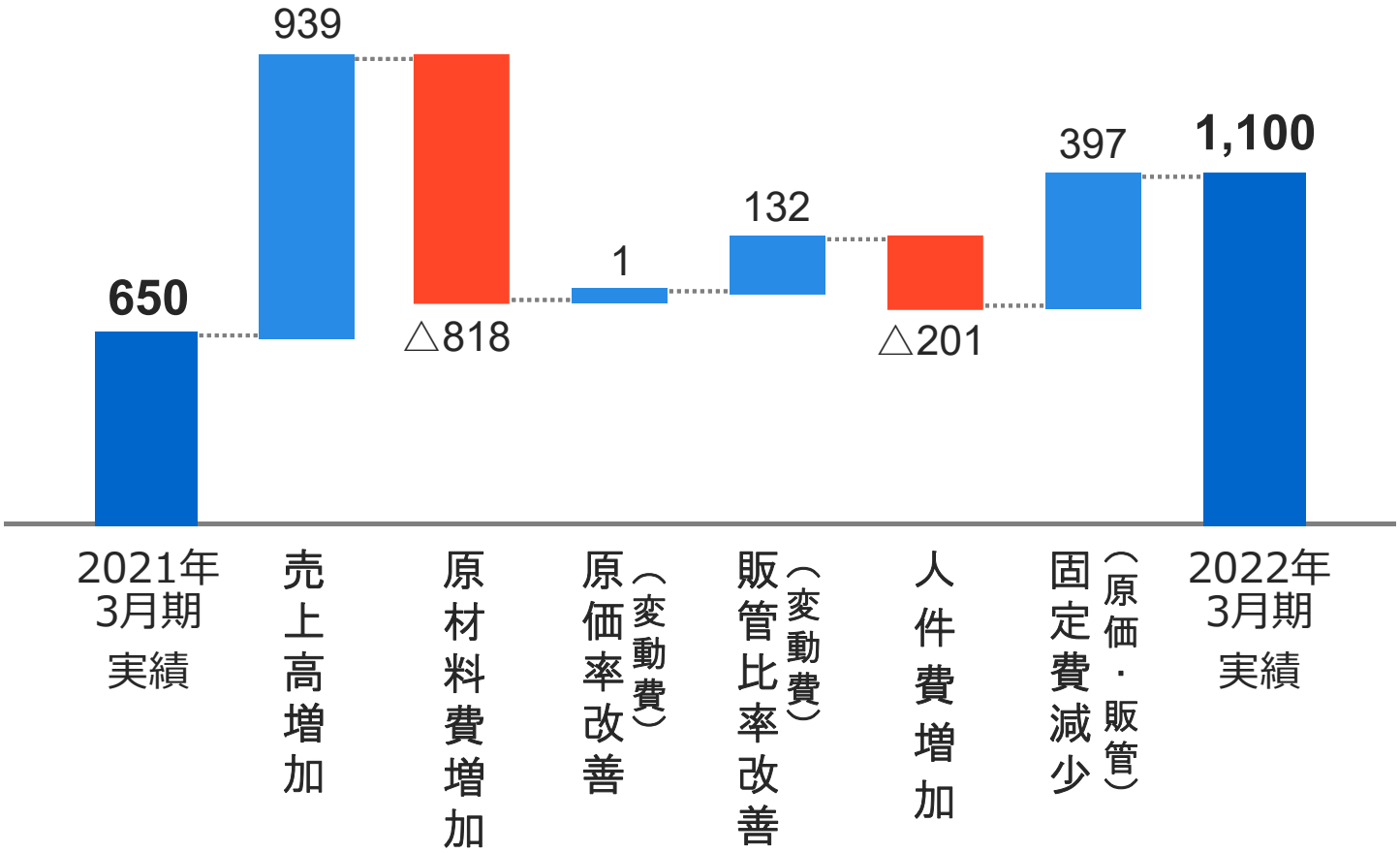
1．2022年3月期 決算の概要

（2）セグメント別の状況

②自動車製品関連事業

【利益増減要因分析】

（単位：百万円）



1．2022年3月期 決算の概要

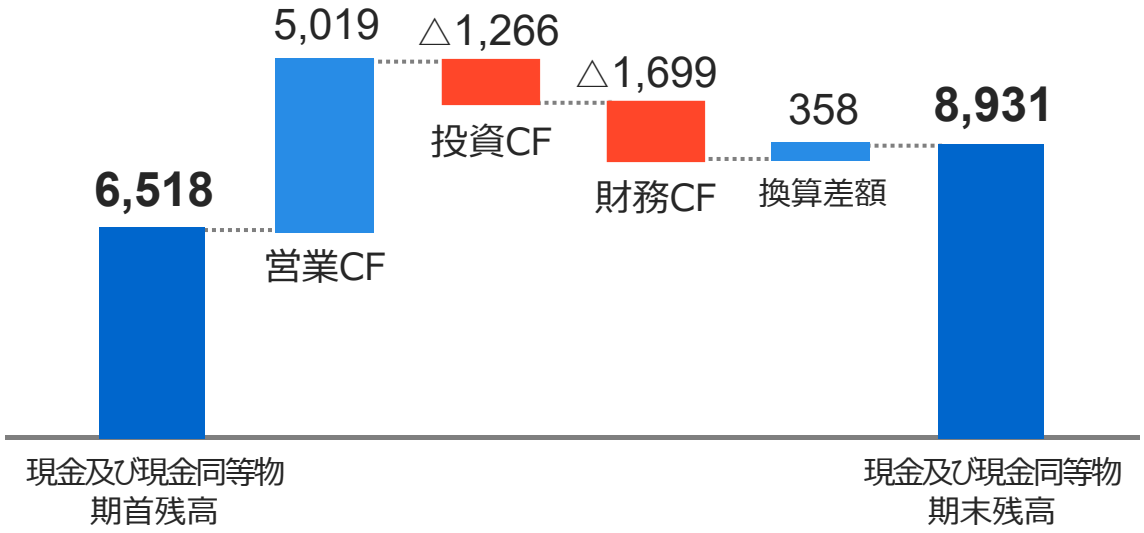
（3）連結貸借対照表

単位：百万円

	21／3月期		22／3月期		前期比
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
流動資産	25,414	33.7	**31,857**	**39.9**	+6,442
固定資産	50,087	66.3	**47,934**	**60.1**	△2,152
有形固定資産	27,018	35.8	**25,071**	**31.4**	△1,947
無形固定資産	1,244	1.6	**1,265**	**1.6**	+21
投資その他の資産	21,824	28.9	**21,597**	**27.1**	△226
資産合計	75,502	100.0	**79,792**	**100.0**	+4,289
流動負債	19,775	26.2	**22,273**	**27.9**	+2,498
固定負債	8,571	11.3	**7,792**	**9.8**	△778
負債合計	28,347	37.5	**30,066**	**37.7**	+1,719
株主資本	37,888	50.2	**38,383**	**48.1**	+494
その他の包括利益累計額	4,677	6.2	**5,883**	**7.4**	+1,206
非支配株主持分	4,588	6.1	**5,458**	**6.8**	+870
純資産合計	47,154	62.5	**49,725**	**62.3**	+2,570

1．2022年3月期 決算の概要

（4）連結キャッシュ・フロー計算書



単位：百万円

	21／3月期	22／3月期	前期比増減
現金及び現金同等物の期首残高	7,964	**6,518**	△1,446
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,085	**5,019**	＋1,934
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,636	**△1,266**	＋4,369
財務活動によるキャッシュ・フロー	＋1,059	**△1,699**	△2,758
現金及び現金同等物に係る換算差額	＋45	**+358**	＋313
現金及び現金同等物の期末残高	6,518	**8,931**	＋2,412

2．2023年3月期 通期業績予想の概要

（1）2023年3月期 通期業績予想サマリー

単位：百万円

	22／3月期		23／3月期		前期比	
	実績	構成比	業績予想	構成比	増減額	増減率
売上高	54,779	–	**61,000**	**–**	+6,220	+11.4%
営業利益	1,482	2.7	**3,000**	**4.9**	+1,517	+102.4%
経常利益	2,625	4.8	**4,800**	**7.9**	+2,174	+82.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,300	2.4	**3,200**	**5.2**	+1,899	+146.0%
１株当たり当期純利益	59.90円	–	**147.36円**	**–**	+87.4 円	–

※2023／3月期見込

持分法投資利益　約 15億円（前期比 約4倍増）

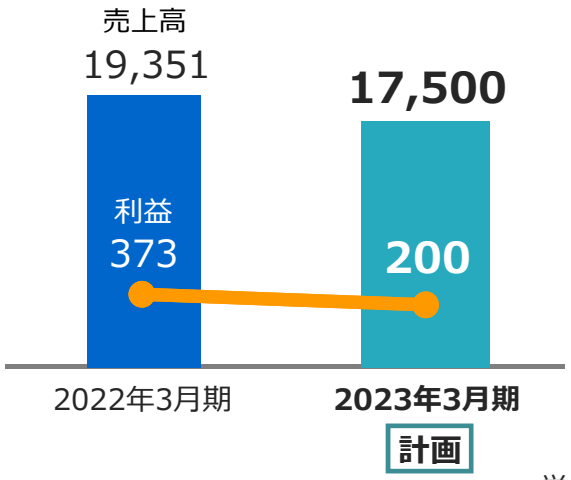
想定為替レート　1ドル＝125円

2．2023年3月期 通期業績予想の概要

（2）セグメント別の状況

【売上高】 下期に向けて回復傾向（コロナ禍等の影響残る）
【利　益】 原材料価格高騰の影響継続

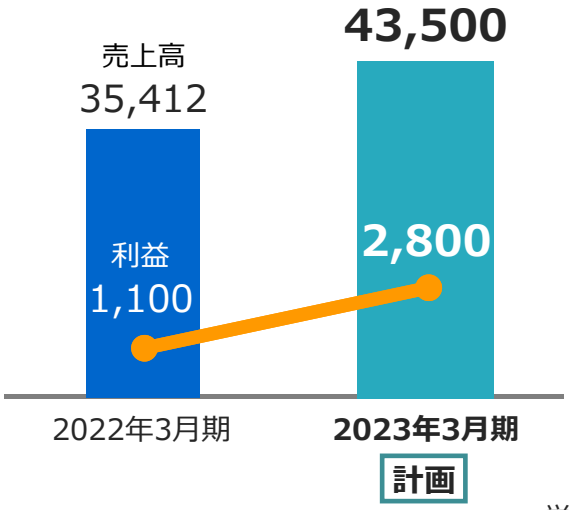
＜塗料関連事業＞



単位：百万円

	2022年3月期	2023年3月期	増減率
売上高	19,351	**17,500**	△9.6%
セグメント利益	373	**200**	△46.5%
（利益率）	（1.9%）	**（1.1%）**	

＜自動車製品関連事業＞



単位：百万円

	2022年3月期	2023年3月期	増減率
売上高	35,412	**43,500**	+22.8%
セグメント利益	1,100	**2,800**	+154.3%
（利益率）	（3.1%）	**（6.4%）**	

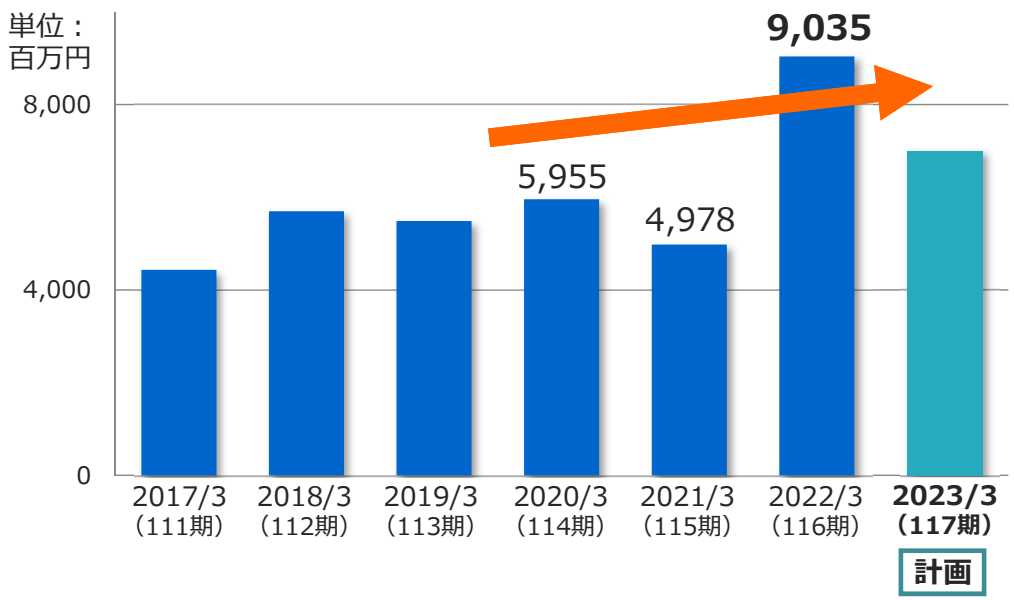
2．2023年3月期 通期業績予想の概要

（2）セグメント別の状況 ＜塗料関連事業＞

■ 請負工事（集合住宅大規模改修工事）

子会社 ニットクメンテ株式会社において
マンション等の大規模改修、修繕工事を請負
（大都市圏中心に、全国８拠点へ展開）

ニットクメンテ 売上高推移

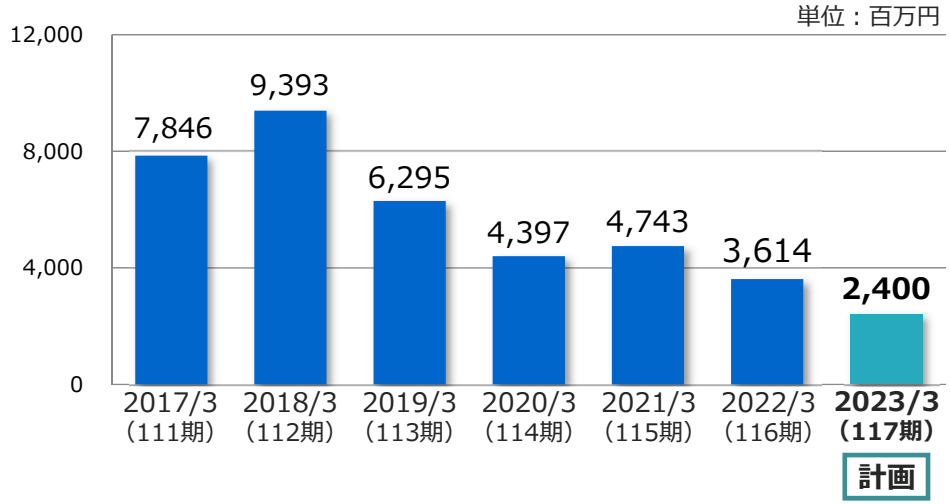


ニットクメンテ㈱によるマンション改修工事

2．2023年3月期 通期業績予想の概要

（3）設備投資・減価償却費

①設備投資（工事ベース）

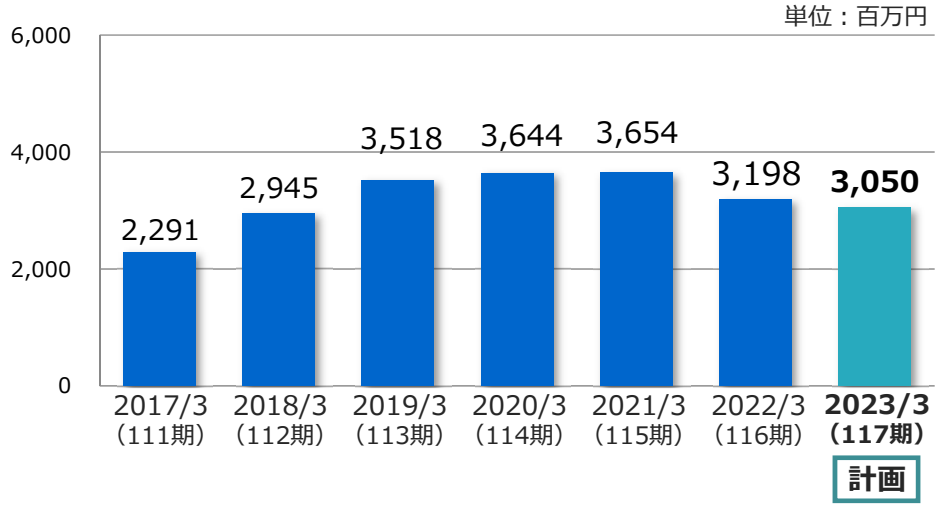


【設備投資】

・大型投資は減少

・当面の新規投資は受注動向等で判断

②減価償却費



【減価償却費】

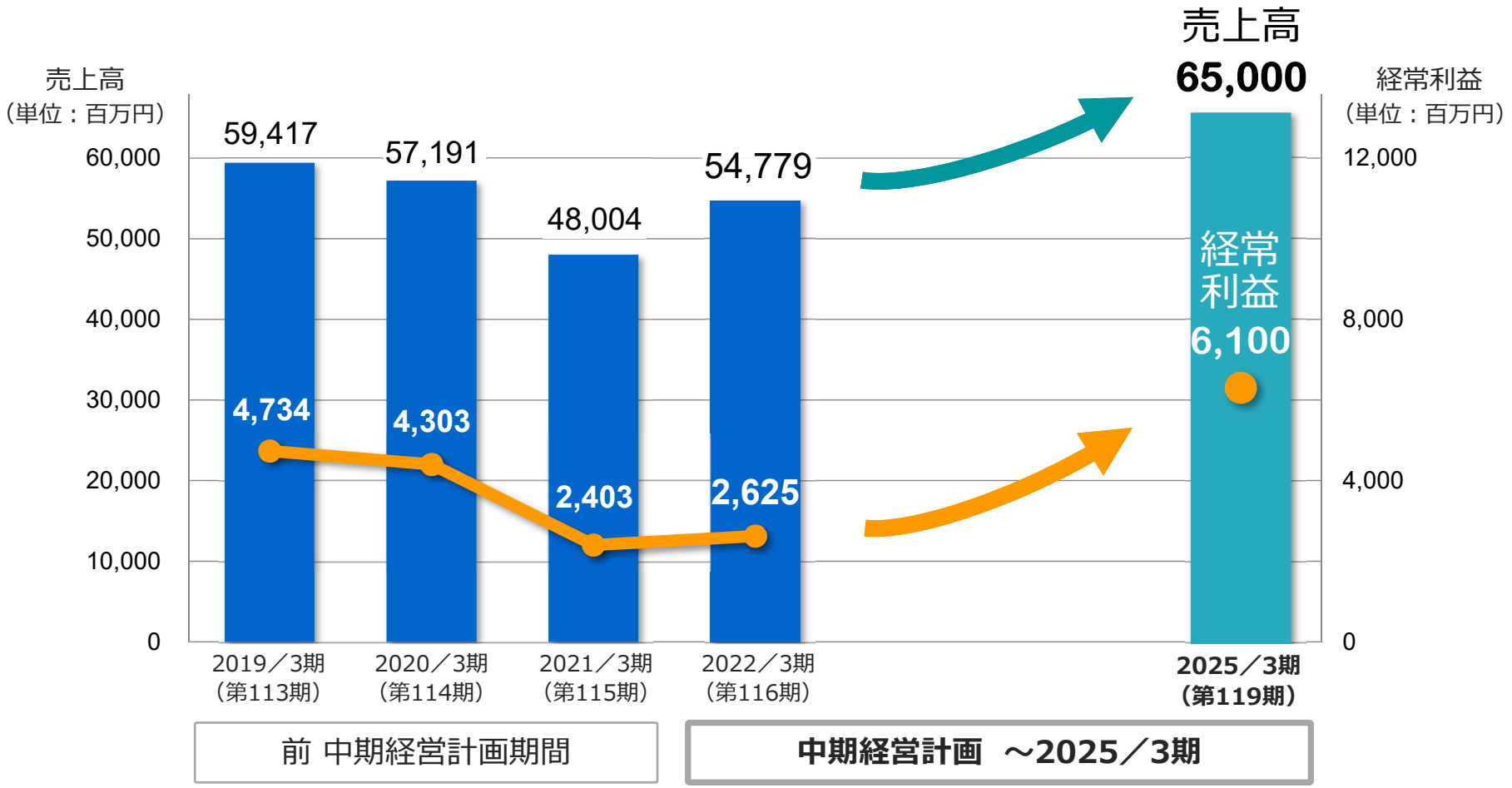
・2022/3期以降
収益認識基準適用の影響あり
（売上高・費用ともに減）

・今後、当面は逓減傾向

3． 中期経営計画の概要（業績目標）

業績目標 （ 最終年度 2025年3月期 ）

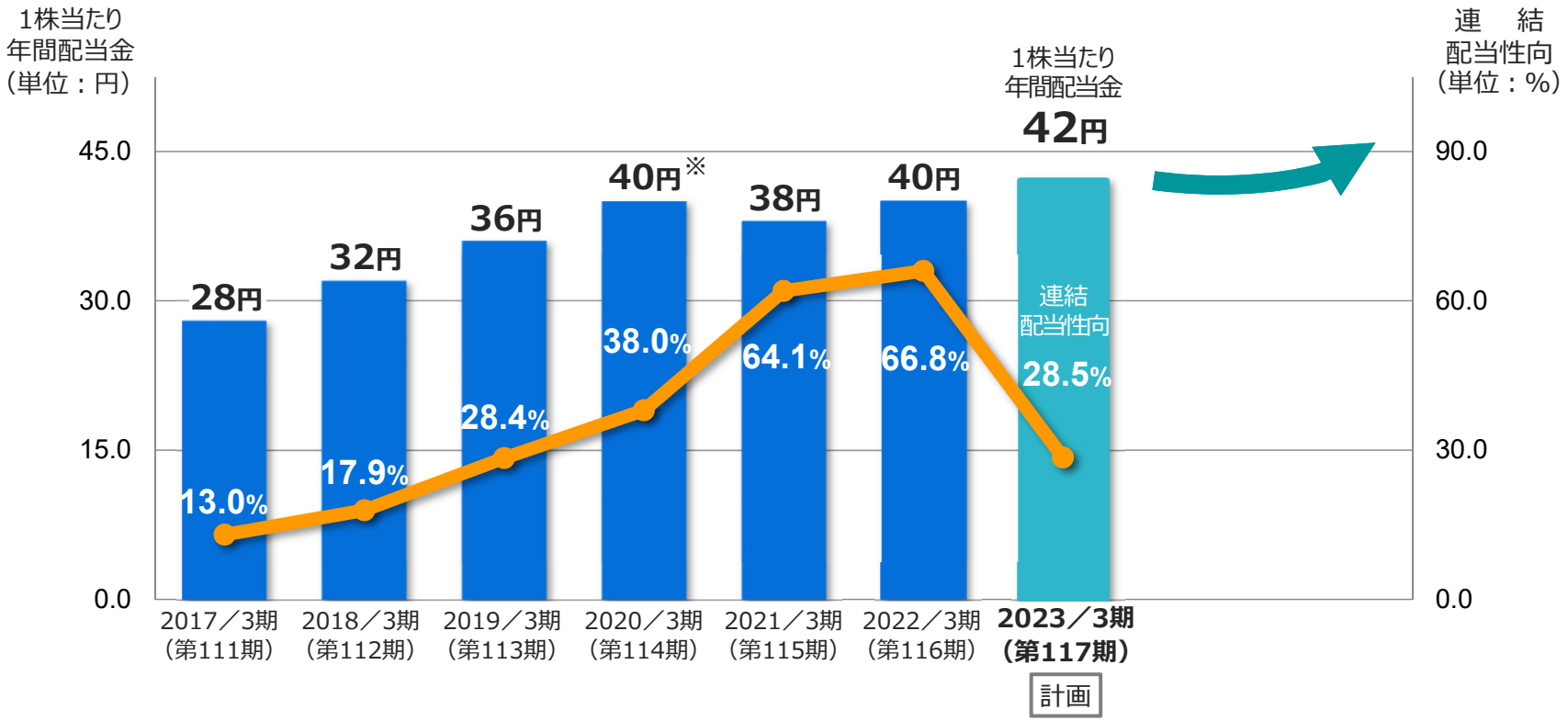
売上高 650億 ・ 経常利益 61億 ・ ROE 10.0 % 以上



3． 中期経営計画の概要（業績目標）

利益還元

安定配当をベースに、戦略的投資に向けた資金充実、財政状態・利益水準、配当性向（30%を目安）等を総合的に勘案し、決定（ 安定配当 ＋α ）



※2020／3期（114期）は創立90周年記念配当2円を含む（普通配当38円）

４．当社の事業概要

（1）沿革①

■ 創業～塗料事業の歩み

1929年　日本特殊塗料合資会社として、航空機用塗料の開発からスタート
1930年　「T・T（テー・テー）金属用塗料」を開発
1951年　セメント瓦用塗料「スレコート」を開発
1966年　屋根用塗膜防水材「プルーフロン」の開発を皮切りに
　　建築市場に参入
1973年　塗り床材「ユータック」を開発
1975年　航空機用「ポリウレタン塗料」が日本航空ジャンボ機に採用される
1983年　超高弾性壁面防水化粧材「ハイプルーフ」の開発で
　　技術のニットクを印象づけた
1995年　「スカイハロー・トップコートFLV」を開発
1999年　「スカイハローE」H-Ⅱロケットに採用
2001年　屋根用遮熱塗料「パラサーモ」を開発
2011年　光触媒塗料と同等の超低汚染性の機能を持つ「シルビアセラティー」を開発
2012年　有機無機ハイブリッド系塗り床材「ユータックコンプリート」を開発
2013年　風力発電ブレード用「ウィンドハロートップコートF」を開発
2014年　環境対応型建築用塗膜防水材「プルーフロンエコDX」を開発
2017年　学校環境衛生基準等を満足する「プールエースECO」を開発

４．当社の事業概要

（1）沿革②

■ 自動車製品事業への参入と防音材技術の確立

1953年　自動車用防音・防錆塗料「ニットク・アンダーシール」を開発
1964年　自動車用制振材「メルシート」を上市、防音材メーカーとして歩み始める
1967年　防音材メーカー、マテック・ホールディング社（現オートニウム社）と技術提携
1968年　吸音材「タカ」を開発
1969年　遮音材「タカポール」の開発により、自動車用防音材分野での基礎技術を確立
1970年　自動車用遮音材「ダッシュインシュレーター」を開発
1978年　自動車用吸音材「ボンネットライナー」を開発
1988年　エムス・トーゴー社（現エフテック社）とクロスライセンス契約
2001年　超軽量防音システム部品「RIETER ULTRA LIGHT™」※の開発により、従来比30～60%の軽量化を実現
2003年　自動車用吸音材「ホイールハウスライナー」を開発
2010年　自動車用吸・遮音材「フロアカーペット」・「フロアアンダーカバー」を開発
2016年　フロアカーペットのバリエーションに「ＩＦＰ」工法、「RIETER ULTRA LIGHT™」※ のバリエーションに「ＨＡ」技術を導入

※「RIETER ULTRA LIGHT™」は、Autoneum Management AG の登録商標です

4． 当社の事業概要

（1）沿革③

■ グローバル展開 （自動車製品関連事業）

1967年 Matec Holding AG （現:Autoneum Holding AG）と技術提携

1986年 **UGN**,Inc.を米国に設立

1994年 **SNC** Sound Proof Co.,Ltd. をタイに設立

2003年 日特固（広州）防音配件有限公司（**ANG**）を中国に設立

2004年 天津日特固防音配件有限公司（**TAN**）を中国に設立

2005年 **SRN** Sound Proof Co.,Ltd. をタイに設立

2008年 Rieter Nittoku Automotive Sound Proof Products India Pvt.Ltd.（現:Autoneum Nittoku Sound Proof Products India Pvt.Ltd.）（**ANIS**）をインドに設立

2010年 武漢日特固防音配件有限公司（**WNA**）を中国に設立

2012年 PT.TUFFINDO NITTOKU AUTONEUM（**TNA**）をインドネシアに設立

2013年 UGN,Inc.がメキシコに工場を新設（2017年に工場移転）

2019年 武漢日特固汽車零部件有限公司 を中国に設立（**WNA**子会社）

▲ スイス Unikeller 研究所(当時)

▲ United Globe Nippon, Inc. (当時)

▲ SNCサウンドプルーフ

▲ 日特固(広州)防音配件有限公司(ANG)

▲ 天津日特固防音配件有限公司(TAN)

▲ サミット・リエタ・ニットク サウンドプルーフ (SRN)

▲ オートニウム・ニットク・サウンドプルーフ・プロダクツ・インド(ANIS)

▲武漢日特固防音配件有限公司(WNA)

▲ PTタフィンド・ニットク・オートニウム (TNA)

▲UGN Mexico

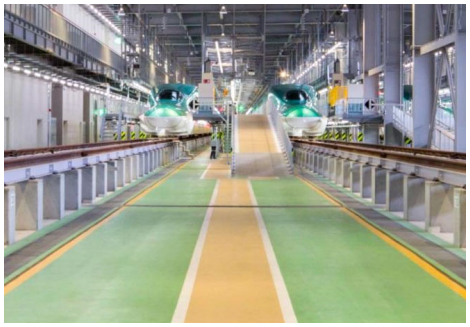
４． 当社の事業概要

（2）塗料関連事業 主要製品

■ 建築・構築物用塗料

内外装材をはじめ、塗り床材・舗装材、防水材、屋根用塗料等様々な機能性塗料の開発、販売を行なっています。

遮熱塗料は、屋根、外壁、屋上、バルコニーなど建物全般を遮熱し高い省エネ・節電効果を発揮します。



塗り床材「ユータックＥ-40」
(北海道新幹線函館総合車両基地)

速硬化性弾性FRP防水材「タフシール防水工法」
(坂の上の雲ミュージアム)

屋根用遮熱塗料「パラサーモＮ」
(サヌキ畜産加工協同組合)

■ 航空機用塗料

苛酷な環境から航空機の機体を保護する航空機用塗料「スカイハロー」は、民間航空会社をはじめ、日本国政府専用機や各航空会社の特別塗装機、さらには宇宙航空研究開発機構の月周回衛星「かぐや」にも採用されています。

AIR DO 特別塗装機 ベア・ドゥ 北海道JET

宇宙航空研究開発機構
「月周回衛星かぐや」

４． 当社の事業概要

（2）塗料関連事業 主要製品

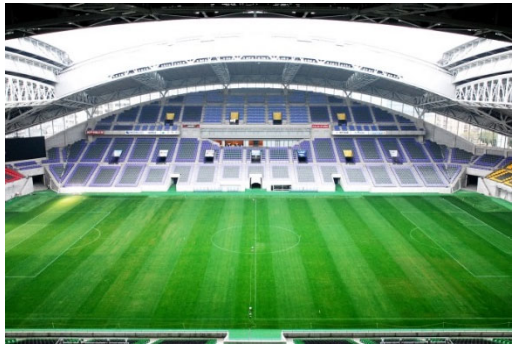
■ 請負工事（集合住宅大規模改修工事）

子会社 ニットクメンテ㈱において、マンション等の
大規模改修、修繕工事を請負

＜ ニットクメンテ株式会社 ＞

・事業所　東京・大阪・名古屋 他（全国８拠点）
・売上高　約90億円（2022年3月期）
・株主　　当社、積水アクアシステム㈱

■ 建築・構築物用防音材



制振材「イーディケルM-3500SS」が採用された
「ノエビアスタジアム神戸」(ドーム屋根部分)

■ 鉄道車両用防音材

九州新幹線N700系「さくら」

■ DIY用製品

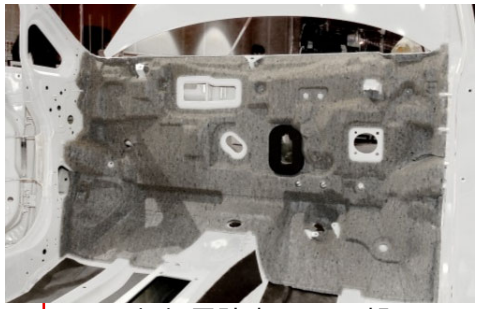
DIY用製品

4． 当社の事業概要

（3）自動車製品関連事業 主要製品

■ 吸音材・遮音材

※「RIETER ULTRA LIGHT™」は
Autoneum Management AG の登録商標です



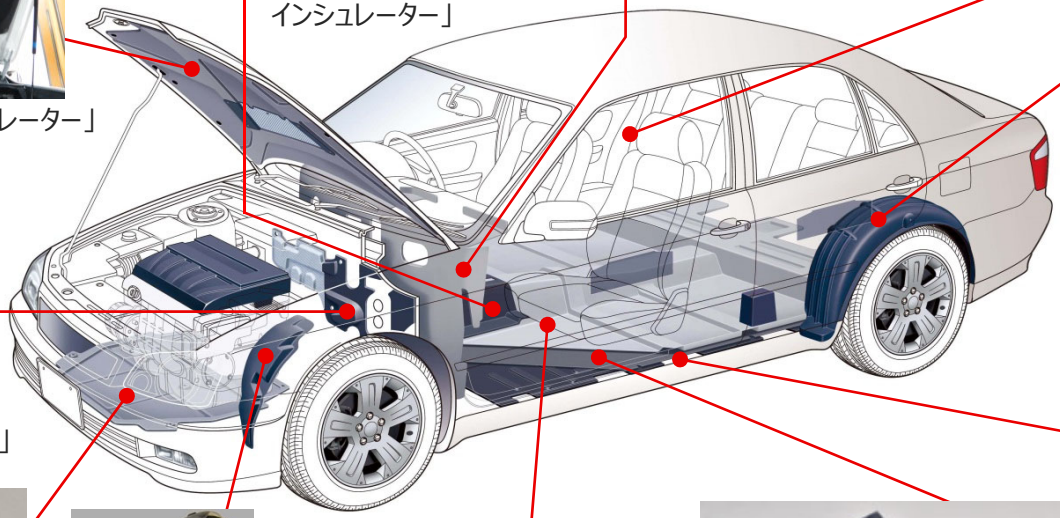
超軽量防音システム部品
「RIETER ULTRA LIGHT™」

自動車用
吸音材
「吸音ダクト」

自動車用吸音材
「トランスミッション
インシュレーター」

自動車用吸音材「フードインシュレーター」

自動車用吸音材
「リア吸音
ホイールハウスライナー」



自動車用吸・遮音材
「ダッシュアウターインシュレーター」

自動車用吸音材
「吸音フロア
アンダーカバー」

自動車用吸音材
「吸音エンジンアンダーカバー」

自動車用吸音材
「フロント吸音
ホイールハウスライナー」

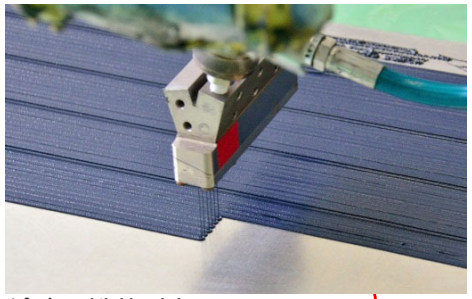
自動車用吸音材
「ヒートインシュレーター」

自動車用吸・遮音材「フロアカーペット」

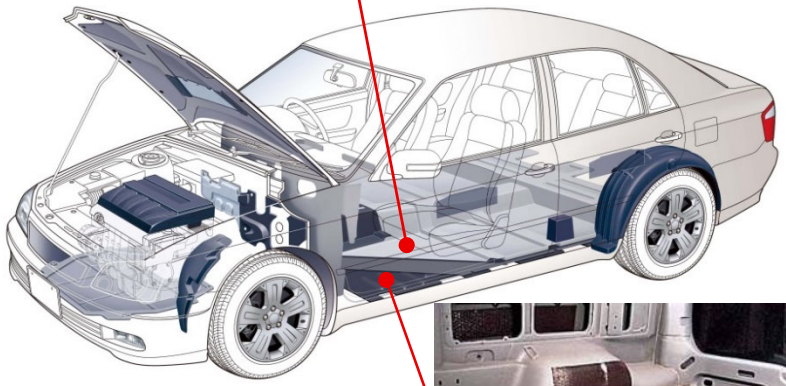
4． 当社の事業概要

（3）自動車製品関連事業 主要製品

■ 制振材・防錆材



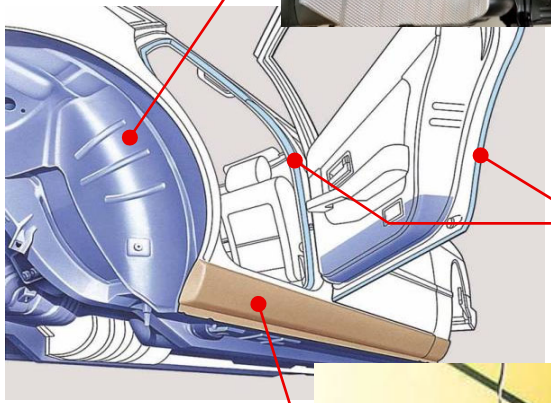
塗布型制振材
「NTダンピングコート」



自動車用制振材「メルシート」

自動車用防錆材・シーラントの代表的な塗装部位

「NTガードコート」
（PVC系）



「シールトップ」

「NTガードコート」
（PVC系・ウレタン系）

５．今後の成長戦略

中期経営計画の基本戦略

（2022年3月期 ～ 2025年3月期 ）

（1）国内事業の安定的な収益基盤の構築

（2）「技術のニットク」の強化と新技術・新製品開発

（3）グローバル展開の強化

（4）ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）推進

（5）サステナビリティ（持続可能性）経営の推進

5．今後の成長戦略

（1）国内事業の安定的な収益基盤の構築

塗　料

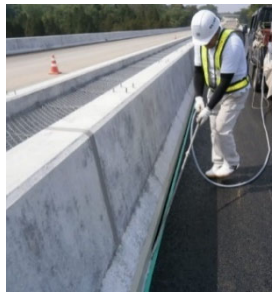
・防水材等の拡販（市場でのシェア拡大）
・新規参入した土木分野の強化
・販売価格の見直し
（原材料価格高騰への対応）

建築用塗膜防水材
「プルーフロンエコＤＸ」採用例

土木分野「床版防水材」

塗　料　**自動車製品**

・製品在庫の一元管理を推進し、在庫や
生産計画を最適化
・内製化検討を含む、生産工法・生産性の改善
・リサイクル推進等による産廃量/産廃処理費用の削減



土木分野「端部防水材」

5．今後の成長戦略

（2）「技術のニットク」の強化と新技術・新製品開発

塗　料

・高機能・高付加価値製品の開発

超撥水塗料、抗ウイルス塗料等の高付加価値製品の開発

フェイスシールド・メガネレンズ用
くもり止め液「デフォグマジック」

自動車製品

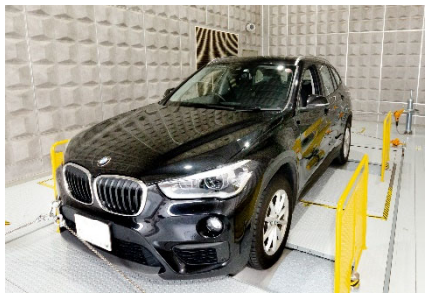
・変化に対応した新技術・新製品開発

モビリティー革命進展を見据え、高い防音性能に加え、変化（ＣＡＳＥ、カーボンニュートラル、車両構造変化等）に対応した技術・製品開発

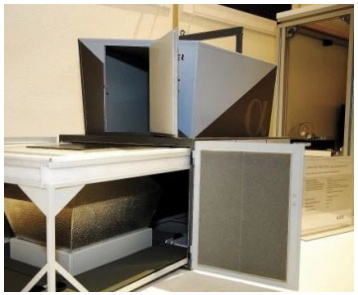
材料開発 ＋ 音響解析・評価技術

➡ **最適な防音部品を供給**
（防音性能＋コスト競争力）

防音性能 ＋ デザイン性 ＋ α（新機能）



音響解析のための実車テスト
ベンチ（スムース＆ラフ面）



ISOKELL：防音部品の音響
透過損失測定装置

５．今後の成長戦略

（3）グローバル展開の強化

塗　料

・海外マーケットの新規開拓

主に中国・東南アジア向けに、防水材、塗り床材、遮熱・断熱塗料をはじめ、多様なニーズに即した高付加価値製品の販売を強化
（ベースとなる人財育成、組織体制の確立）

塗り床材「ユータックＥ-30Ｎ」
(インドネシア「ＴＮＡ」倉庫)

屋根用遮熱・断熱塗料
「パラサーモフッ素」採用例 (国内)

自動車製品

・技術提携先、海外ＪＶとの連携強化

原料調達から「ものづくり」まで、グローバルで連携を強化し、原価改善、生産体制最適化（サプライチェーンの強化）、生産性を向上

ＷＮＡ子会社 第３工場

5． 今後の成長戦略

■ グローバル･ネットワーク（現状）

武漢日特固防音配件有限公司（中国）
武漢日特固汽車零部件有限公司（〃）

天津日特固防音配件有限公司（中国）

UGN,Inc.本社（アメリカ）

日特固(広州)防音配件有限公司（中国）

PT. TUFFINDO NITTOKU AUTONEUM（ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ）

SNC Sound Proof Co.,Ltd.（ﾀｲ）

SRN Sound Proof Co.,Ltd.（ﾀｲ）

Autoneum Nittoku Sound Proof Products India Pvt.Ltd.（ｲﾝﾄﾞ）

5． 今後の成長戦略

■ グローバル パートナー

＜ Autoneum（オートニウム）社 ＞

①Autoneumとの技術提携関係（防音部品）

1967年以来、**50年を超えるアライアンス**

— グローバル戦略
— 音響解析技術・評価技術・製品開発の共有
— 北米はじめアジア各国で当社とＪＶを設立

②Autoneum社の概要

・上場企業（SIX Swiss Exchange）
・純売上高　1700.4 million CHF（約2,300億円）
・スイス本社、グローバルに53拠点、進出先24ヵ国
・従業員数（グループ全体）　約11,800名
・世界でも有数の音響解析/評価技術と熱解析技術を有し
自動車音響製品および耐熱対策の分野で
世界の自動車産業に製品等を供給する防音材トップメーカー

5． 今後の成長戦略

■ グローバル パートナー

＜ EMS-EFTEC社 ＞

EFTEC

①EMS-EFTEC社の概要

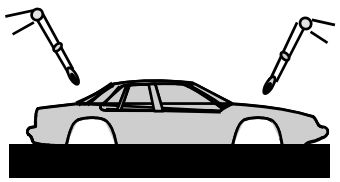
・EMS-CHEMIE HOLDING AG の子会社 ＥＭＳグループ

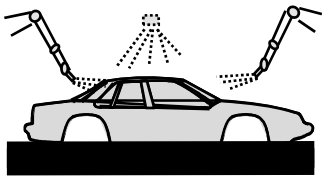
・EMSグループ「High Performance Polymers」事業
売上高 約 2,000 million CHF*（約2,700億円） *EFTEC社含む事業全体

・スイス本社、欧州中心に 北・中南米、中国、タイ、インド 等へ進出

②EMS-EFTEC社の製品群

・板金、組立、塗装の各工程用の
接着剤、塗材、シーリング材、制振材





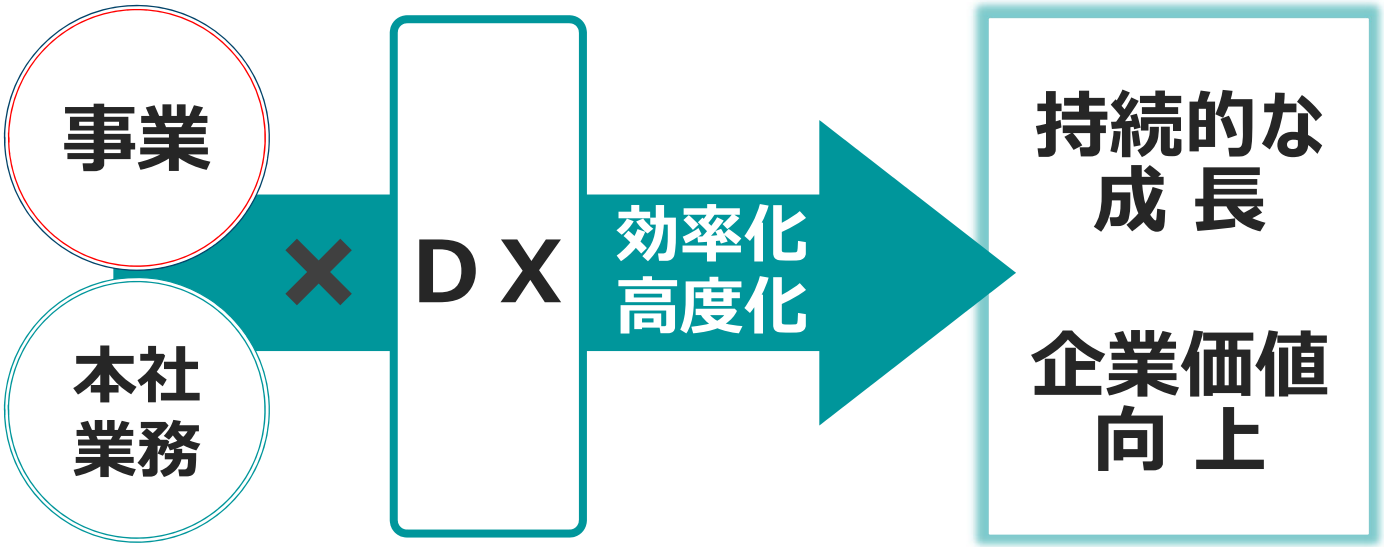
５．今後の成長戦略

（4）ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）推進

全社・共通

・デジタル技術活用による効率化推進（ＤＸ推進）

開発、製造、本社等全部門で、ＡＩ（人工知能）
を含めた最新デジタル技術を活用し、ＤＸを推進
（ＥＤＩシステム、ＰＬＭシステム、電子契約・・・）



５．今後の成長戦略

（5）サステナビリティ（持続可能性）経営の推進

塗　料

・環境配慮型製品の拡充

CO2排出量削減に寄与する遮熱塗料等の強化・拡充

自動車製品

・マテリアルリサイクル推進（ＣＥ推進）

回収したユニフォーム等の古衣料を自動車用
防音材に再生する古衣料リサイクルを推進

➡ 次ページ図参照

優れた遮熱効果で省エネ対策や環境対策にも
有効な屋根用遮熱塗料「パラサーモシリーズ」

防音材リサイクルライン

リサイクル繊維を利用した生産設備

5．今後の成長戦略

（5）サステナビリティ（持続可能性）経営の推進

ニットクグループは自動車産業における古衣料リサイクル技術に着目し
省資源、使用エネルギー削減、廃棄物削減　および　CO2排出削減
を推進しています

5．今後の成長戦略

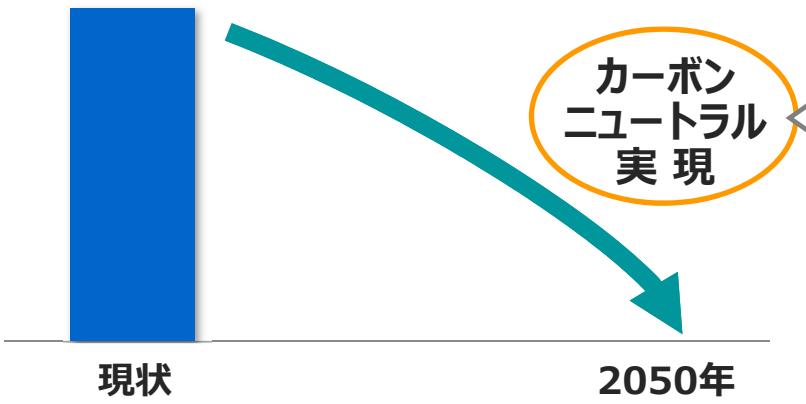
（5）サステナビリティ（持続可能性）経営の推進

全社・共通

・カーボンニュートラルの実現

2021年10月、カーボンニュートラルプロジェクトを立ち上げ、
2050年に全ての製品と企業活動を通じたカーボンニュートラル
の実現を目指しています

【 CO2排出量削減のイメージ 】



・省エネ、高効率化
・再生可能エネルギーの
導入と調達
・燃料の転換
・技術革新　等

５．今後の成長戦略

（5）サステナビリティ（持続可能性）経営の推進

全社・共通

・人材育成の強化、「『働きがい』改革」

持続可能な成長を支える人財育成の強化（研修・教育機会の拡充）、
『働きがい』のある活力に満ちた職場づくりを推進（多様性と多様な働き方）

・ガバナンスの強化

東証コーポレートガバナンス・コードに定められた各原則の趣旨を踏まえた
施策を推進し、グループガバナンスの強化、全社一体での成長を実現

・ＣＳＲ重視の施策を推進

コンプライアンス遵守体制の確立とともに、サステナビリティ経営推進に向けた
方針策定、マテリアリティ（重要課題）の特定とそれに基づく経営体制確立、
統合報告書発行等に注力

５．今後の成長戦略

（6）流通株式時価総額向上に向けた取り組み

移行基準日（2021年6月30日）において、プライム市場の上場維持基準のうち、『流通株式時価総額』が基準を未達。以下取り組みを推進中。

■ **計画期間**　～2025年3月期

■ **時価総額向上に向けた取り組み**

・中期経営計画に基づく基本戦略の推進
・株主還元の充実
・サステナビリティ経営の推進
・ＩＲの強化
　英文情報開示の充実、投資家の認知度向上、対話の推進

■ **流通株式比率向上に向けた取り組み**

・持合い株式及び政策保有株式の解消・縮減
・自己株式の有効活用策の検討・実施

＜参考資料＞

１．会社概要

２．主要な経営指標の推移

1．会社概要

（1）会社概要

■ 商号	日本特殊塗料株式会社 （NIHON TOKUSHU TORYO CO., LTD.）
■ 本社	東京都北区王子3丁目23番2号
■ 創業	1929（昭和4）年6月1日
■ 資本金	47億5,308万円
■ 発行済株式数	23,611,200株
■ 連結従業員数	1,299名（2022年3月末時点） ※臨時雇用者を除く

1．会社概要

（2）役員・執行役員 ＜監査役設置会社＞

■ 取締役

取締役会長 最高経営責任者(CEO)	野島雅寛
取締役副会長 最高財務責任者(CFO)	田谷　純
代表取締役社長 最高執行責任者(COO)	遠田比呂志
取締役	山口久弥
取締役	安井芳彦
取締役	土井義彦
取締役	鈴木裕史
取締役	中村　信
社外取締役	奈良道博
社外取締役	矢部耕三

■ 監査役

常勤監査役	川名宏一
社外監査役	高橋善樹
社外監査役	松藤　斉

■ 執行役員

執行役員	南雲三智夫
執行役員	栗原洋幸
執行役員	福富雄二
執行役員	力武洋介

１．会社概要

（3）社是・経営の基本理念

社是

創意工夫

経営の基本理念

卓越した技術と製品により社会に貢献する。

株主の利益を尊重し、社員の人格を大切にする。

環境と共生し、国際標準に準拠しつつ、
永遠の発展を目指す。

1． 会社概要

（4）経営の基本方針・長期ビジョン

経営の基本方針

創意工夫を社是とし、独自の技術と製品をもって
顧客の要請と信頼にこたえる。

世界に活躍する企業として総合開発力を結集し、
新製品・新需要の開発に挑戦する。

人材の育成・雇用をはかるとともに、一切の無駄を省き、
高生産性・高収益を追求する。

長期ビジョン

塗料と防音材を柱に、快適環境を創造し、
社会に貢献する会社でありたい。

世界中から必要とされ、信頼される“nittoku”へ
さらに飛躍させたい。

働きに応じて評価され、働き甲斐のある
活力に満ちた会社を創り出そう。

1． 会社概要

（5）国内主要事業所

■ 本社･研究開発拠点

本社

開発センター

塗料技術棟

■ 国内６工場

平塚工場

静岡工場

愛知工場

広島工場

九州工場

東九州工場

2．主要な経営指標（連結）の推移

	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
売上高 （百万円）	32,781	39,391	39,570	43,812	47,998	57,260	59,417	57,191	48,004	54,779
営業利益 （百万円）	461	1,303	1,629	2,961	3,162	3,286	2,973	2,827	858	1,482
経常利益 （百万円）	1,805	3,328	4,036	5,533	6,741	5,881	4,734	4,303	2,403	2,625
当期純利益 （百万円）	1,543	2,712	3,029	3,966	4,778	3,960	2,795	2,318	1,301	1,300
1株当たり当期純利益 （円）	69.80	122.69	137.00	179.37	216.11	179.12	126.74	105.34	59.27	59.90
総資産 （百万円）	38,762	47,960	53,428	56,894	66,987	76,655	73,572	72,067	75,502	79,792
純資産 （百万円）	21,268	26,794	31,385	34,235	39,539	43,674	43,958	45,062	47,154	49,725
配当金 （円）	10.0	12.0	12.0	20.0	28.0	32.0	36.0	40.0	38.0	40.0
配当性向 （%）	14.3	9.8	8.8	11.2	13.0	17.9	28.4	38.0	64.1	66.8
自己資本比率（%）	53.4	53.6	56.2	57.1	54.9	52.5	54.7	56.8	56.4	55.5
ＲＯＥ （%）	7.9	11.7	10.9	12.7	13.8	10.3	6.9	5.7	3.1	3.0

【ＩＲに関するお問合せ先】

日本特殊塗料株式会社 業務本部 財務部
（ TEL ： 03－3913－6134 ）

本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。
本資料における業績予想および将来の予測等に関する記述は、資料作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。
なお、本資料の内容は今後予告なしに変更することがあります。